

## ●ママ Ring●

子育て支援を目的に、ママたちで結成した音楽ユニットです。

○親子音楽あそび「おんたいむどれみ」公演の開催（毎月1回、児童センターぱれっとにて）

毎回100名近くのお客様に参加していただいています。

○ママと育児を応援するオリジナルソングの制作・発表、CD制作・販売

○幼稚園、保育園、子育てサークルなどでの出張公演などなど・・・

ホームページ <https://mama-ring.jimdo.com/>

公演依頼等は [kyonkyon-okyou@wcm.ne.jp](mailto:kyonkyon-okyou@wcm.ne.jp) へ



## ●そとあそび親子サークル みっけ!●

月2回金曜日10時～13時活動。

拜島自然公園、根川緑道など、近隣の自然の中でスタッフと一緒に遊びます。

活動の様子は、ブログでもご覧いただけます。

ブログアドレス

→ <http://ameblo.jp/mikke2017>

体験もできますのでお気軽にお問合せ下さい。

メールアドレス

→ [soto.asobi.mituke.753@gmail.com](mailto:soto.asobi.mituke.753@gmail.com)

お外で心と身体をた～くさん使って遊びましょう!

1～4歳のお子さんと保護者の方お待ちしております!!






# 子育マゲループ紹介





## ●自主保育たけのこ●

多摩川での水遊びをメインに、自然の中で子どもたちののびのびと遊ばせているサークル。タケノコ取りや桑の実つみ、夏のデイキャンプなど四季おりおりのイベントやママだけのリフレッシュタイムも充実!

月1回の野外炊飯は、パパも参加してBBQや流しそうめんなどを楽しんでいます。アットホームで居心地のよさが魅力です。お友達募集中。一緒に楽しみましょう!

たけのこブログ <http://ameblo.jp/takenokoakishima/>  
連絡は [takenokoakishima@gmail.com](mailto:takenokoakishima@gmail.com) にメールを。



## ●ミーナ友の会●

ミーナ友の会（正式名称 バングラデシュの子ども達と共に歩む会）は、昭島幼稚園卒園児の母親が中心に構成されており、バングラデシュの聴覚障がい児の教育と、職業訓練校運営を支える為、現在、それぞれの学校へ年間80万円の支援を続けています。その内訳は年会費、イベント及びバングラ小物販売の収益、街頭募金活動、ご寄付によるものです。

<年内の主な活動>

11月4日・・・バングラデー（於 昭島幼稚園）

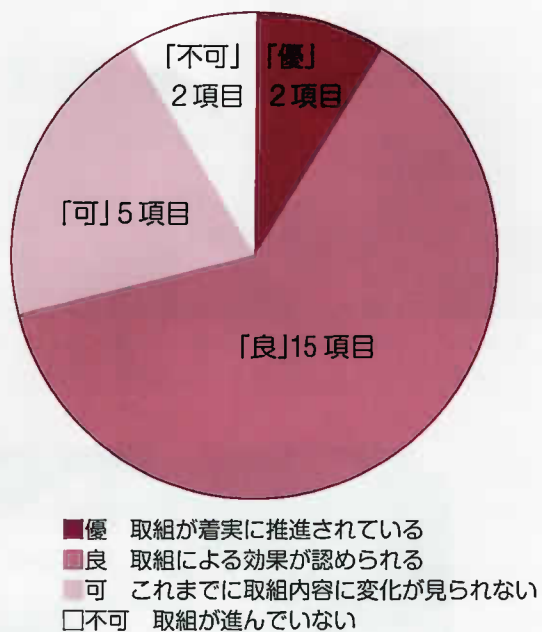
11月25日・・・チャリティコンサート（於 昭島教会礼拝堂）

ホームページ <http://i49680.wixsite.com/minatomonokai>

フェイスブック <https://www.facebook.com/minatomonokai/>



## 2 平成27年度の施策推進に対する評価結果（平成28年度に評価を実施）



「昭島市男女共同参画プラン」の平成27年度進捗状況の評価については次のとおりです。

評価は当初の5段階評価を当該年度から「優」「良」「可」「不可」の4段階に改めたことから、厳しい評価となりました。平成27年度の評価割合はグラフのとおりです。

なお、推進項目数は全体で256件ですが、それをまとめた主要施策24項目について評価しました。

この中で、「不可」評価となった「市内在住外国人に対する男女共同参画意識の普及」および「女性のエンパワーメント等を目的として講座等を開催し女性の人材育成と活用を促進する」施策については、より一層の取組推進が求められます。

## 3 今後の課題の整理

過去5年間の取組に対する評価および平成27年度に対する評価と併せ、推進委員から今後の課題について以下の通り意見が寄せられました。

### 〈課題1〉ワーク・ライフ・バランスの取組強化

この項目は、男女共同参画社会の実現に直結する市の重要課題でもあり、育児や介護を分担しながら一人ひとりが人間らしく生きることを目指すものであります。

まず市が率先して取り組むことが民間企業での取組を加速させるものと考えられますが、なによりも「ワーク ライフ バランスに取り組む企業の認定 公表」など、市内事業所に対する積極的な働きかけを期待します。

### 〈課題2〉男女共同参画センターの整備

同センターの整備により、各種相談機能や情報提供機能の充実、また活動や交流の場としての利用拡大など、男女共同参画事業の取組が大きく前進することを期待します。

### 〈課題3〉男女共同参画事業の認知度を高める取組

全体として市民の認知度が低く、さまざまな取組が効果に繋がらない面があります。

情報誌「Hi, あきしま」の紙面充実、市ホームページへのコンテンツの取り上げなど広報活動に一層の力を傾注されることを期待します。

### 〈課題4〉評価方法の見直し

これまでも、目標達成に向けて推進状況報告書の見直しを重ねてきましたが、市としても達成段階が把握できるよう、また市民にもわかりやすい資料となるよう、今後も継続的な見直しをお願いします。

この評価報告書を踏まえて、編集委員としては、「プラン」の認知度を高めるために、本誌の果たすべき役割が極めて重要であることを改めて認識しました。

本誌が市民の皆様幅広く読んでいただけるよう、今後とも努力していきます。